

平成25年 福井市政 主なできごと

(発生日順)

No.	月	タイトル (担当所属)	概要
1	3月	福井鉄道新型低床車両「FUKURAM (フクラム)」が運行開始 〔地域交通課〕	福井鉄道にとって50年ぶりの新型車両であるFUKURAM (フクラム)は、福井市の公共交通のイメージを一新した。また、100パーセント低床車両で、福井市が目指す「誰もが使いやすい公共交通ネットワーク」のスタートを印象付けた。
2	4月	「県都デザイン戦略」動き出す 〔総合政策室〕	県都デザイン戦略は、2050年の県都福井の将来像を市民の皆様と共有し、具現化するため、長期視点の下、北陸新幹線福井開業を中期、福井国体を短期目標年次として、今年3月に県とともに策定した。今年、「中央公園周辺再整備」の基本計画及び「足羽山・足羽川周辺空間整備」の基本構想策定に着手し、来年度からの具現化につなげていく。
3	4月 6月	学校の学習環境の整備 ・中藤小学校が移転・開校 ・市内全幼小中学校の普通教室にエアコン設置 〔教育総務課〕	土地区画整理事業の進捗に伴い児童数が増加し、これまでの施設では手狭になった中藤小学校が新しく移転・開校した。また、昨年度の中学校に加えて、今年度には幼稚園、小学校の普通教室にもエアコンが設置され、これで市内全幼小中学校へのエアコン設置が完了し、学習に適した良好な教室環境改善が図られた。
4	6月	北陸新幹線の中心線測量開始 〔新幹線推進室〕	昨年の北陸新幹線金沢・敦賀間が認可着工されたことを受け、4月の基準点測量に続き、新幹線ルートを中心点に杭を打ち表示する中心線測量が、福井県内で初めて6月28日に中藤島地区から開始された。
5	8月	長野市と「集客プロモーションパートナー協定」を締結 〔観光推進課〕	今年8月に北陸新幹線金沢開業による新幹線の時間的効果が大きいため長野市と「集客プロモーションパートナー協定」を締結した。この協定により、双方の観光広報活動を活性化させ、産業や文化、教育などの分野で交流を促進し、長野市からの観光誘客につなげていく。
6	8月	第73回国民体育大会福井市準備委員会の設立 〔国体準備室〕	平成30年に開催される福井国体は、実に50年ぶりの福井県開催である。市民、各種関係団体、行政からなる福井市準備委員会の設立は、市民の総力を結集するための第一歩となった。
7	9月	福井駅西口再開発ビルの工事着工 〔都市整備室〕	構想から11年、地域住民と行政が一体となった長年の取組が結実し、昨年の再開発組合の設立認可を経て、本年8月、事業計画の変更及び権利変換計画の認可を受け、9月に西口再開発ビル及び屋根付き広場が工事着工した。
8	10月	米国ニューブランズウィック市姉妹都市提携30周年記念福井市団派遣 〔市民協働・国際課〕	市長をはじめとする福井市団が、姉妹都市提携30周年を記念して米国ニューブランズウィック市を訪問し、姉妹都市盟約確認書の調印と福井市国際文化交流大使(FCA)招聘の合意を行った。
9	10月	独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)との宇宙教育及び普及啓発活動に関する協定締結 〔文化課〕	宇宙航空を素材にした教育及び普及啓発活動を実施することで、児童・生徒が科学的なものの見方、考え方を身に付け、学習意欲を喚起することを目指すとともに、指導者の養成を協働して推進することを目的として締結された。この協定を活かし、JAXAや国立天文台などの専門機関と連携し、分館の展示内容や事業の充実を図る。
10	11月	「一乗谷DISCOVERY PROJECTメンバー」第1号に葉加瀬太郎氏を任命 〔観光推進課〕	貴重な歴史遺産を全国に発信するため、2010年から展開している「一乗谷DISCOVERY PROJECT」の一環として、一乗谷朝倉氏遺跡を愛し、今後の情報発信にも協力をいただける著名人で構成する「一乗谷DISCOVERY PROJECTメンバー」の1人目として、ヴァイオリニストの葉加瀬太郎氏を任命した。